

環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 8

当社のパッケージはお客様の、そして社会全体の環境対応に貢献します。

昨今、海洋プラスチック問題など環境への意識が高まってきていますが、当社はリデュース（使用量を減らす）、リサイクル（再利用する）、リユース（再利用する）に取り組んでいます。ここでは、その一部を紹介いたします。

フジシールグループ 印刷技術による環境対応

フジシールグループでは、シュリンクラベル・タックラベル・パウチの各種環境対応に取り組んでいます。いずれの包材においても、デザイン性・表示の観点から欠かせないのが印刷工程となります。より環境にやさしい印刷技術や印刷インキを使用することで、安心してお使いいただけるように、協力先各社と連携し、ラベル・パウチの開発・展開を行っています。

■ 植物由来材料を含むインキを使用した包材

シュリンクラベル・タックラベルにおいて、2019年よりバイオマスインキを展開し、各種商品でご採用いただいております。インキの材料の一部をバイオマス原料にすることにより、乾燥後のインキ塗膜中の10%以上の成分を植物由来成分に置き換えることができるようになりました。材料を植物由来に置き換えることは、一般的にカーボンニュートラルにつながるとみなされ、弊社のみならず、お客様の環境方針等でもうたわれているものの一つです。

弊社のお客様でもあるカゴメ株式会社も「野菜の会社」として自然環境との共生をめざし、環境負荷低減のための「カゴメ プラスチック方針」を策定されています。その中で、石油から新たに作られるプラスチックの使用を抑制し、資源循環が可能なリサイクル素材や植物由来素材への置き換えを掲げておられます。具体的な取り組みの1つとして、紙容器飲料のプラスチックキャップを、2020年4月から植物由来素材に切り替えられていますが、この度、2020年9月1日から実施している「環境と暮らしに配慮した景品が当たる消費者キャンペーン」では、『再生PET基材』と『植物由来インキ』を組み合わせた環境配慮型のキャンペーンラベルをご採用いただいております。



図1) 環境配慮型キャンペーンラベルのご採用

環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 8

当社のパッケージはお客様の、そして社会全体の環境対応に貢献します。

※今、海洋プラスチック問題など環境への意識が高まってきていますが、当社はリデュース（使用量を減らす）、リサイクル（再利用する）、リユース（再使用する）に取り組んでいます。ここでは、その一部を紹介いたします。

また、植物由来インキの使用はリサイクルプロセスでのCO₂削減にも貢献すると考えられています。日本では、廃インキを含む有色プラスチックの多くがサーマルリサイクルされています。化石燃料の代わりに固形燃料として廃材が有効活用されることは、CO₂削減につながるとも言われており、フジシールグループとしてはその一部が植物由来であれば、さらなるCO₂削減につながると考えています。

■ 水性インキを使用した包材

一般的にシュリンクラベルでは、その表現性や耐内容物などインキ密着性の観点から、有機溶剤を希釈剤として用いた油性インキを用いて印刷されてきました。フジシールグループでは、近年、大気汚染や気候変動への影響をより低減するために、水性インキ使用を念頭においた印刷プロセス導入を行っています。現在、株式会社フジシールでは、水性インキの中でも完全水性インキ（インキ中の有機溶剤含有率が5%以下であり、希釈剤には水を使用）の展開を進めております。これにより、浮遊粒子状物質及び光化学オキシダントの原因の一つである揮発性有機化合物（VOC）の排出が大幅に抑制される他、ラベルとしてのCO₂削減効果*も見込めます。 *シュリンクラベルにおいて既存印刷仕様と比較

■ 抗菌・抗ウイルス加工包材

2020年に入りCOVID-19が世界各国で広がり、猛威を振るっていることから、商品を守るパッケージの役割が見直されています。このような環境変化の中で、プラスチックの使用量を増やさずに、安心して商品を手にとっていただけるよう、抗ウイルス・抗菌インキを使用したラベルの展開を進めています。

株式会社フジシールは3包材について抗菌・抗ウイルス試験を実施し、抗菌加工製品、および抗菌・抗ウイルス加工製品として、以下の通りSIAA*マーク認証を取得しました。フジシールグループでは、今後さらに各種包材への抗菌・抗ウイルス加工についての検証を進め、認証機関への製品登録を進めるとともに、製品展開を進めて参ります。

*SIAA (Society of International sustaining growth for Antimicrobial Articles) とは、適正で安心できる抗菌・防カビ加工製品の普及を目的とし、抗菌剤・防カビ剤および抗菌・防カビ加工製品のメーカー、抗菌試験機関が集まってできた団体です。抗菌加工製品に求められる品質や安全性に関するルールを整備し、かつそのルールに適合した製品の安心のシンボルSIAAマーク表示を認めています。 SIAAホームページ：<https://www.kohkin.net/siaa.html>より引用

環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 8

フジシール抗菌・抗ウイルス加工製品一覧
(一般社団法人抗菌製品技術協議会ウェブサイト)



当社のパッケージはお客様の、そして社会全体の環境対応に貢献します。



SIAAマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

〈抗菌について〉

- 包材表面における細菌の増殖を抑制します。
- 本製品は医薬品ではありません。
- SIAAの安全性基準に適合しています。
- すべての細菌の増殖を抑制するものではありません。



SIAAマークはISO21702法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

〈抗ウイルスについて〉

- 包材表面の特定ウイルスの数を減少させます。
- 本製品は医薬品ではありません。
- 抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。
- SIAAの安全性基準に適合しています。

昨今、海洋プラスチック問題など環境への意識が高まってきていますが、当社はリデュース（使用量を減らす）、リサイクル（再利用する）、リユース（再使用する）に取り組んでいます。ここでは、その一部を紹介いたします。